

中野区 見守り活動通信

第3号

インタビューを実施しました!

この「見守り活動通信」は、区と見守りに関する協定を締結している事業者の皆様の情報共有や連携力をさらに進めていくため年に2回発行しています。

前号に引き続き、区と見守りに関する協定を締結している事業者様のなかから、4事業者の方にご協力をいただき日頃取り組んでいる見守り活動を中心に色々とお話を伺いました。

東京電力パワーグリッド荻窪支社

地域担当 石坂氏



●ビッグデータを活用した見守り

当社は近隣3区の送電設備や電柱、メーター管理等の業務を行っております。

今までは検針員で行っていたメーターの検針をスマートメーター（デジタル化）に移行したことで、30分に1回の検針が可能になりました。将来的にはIoTを用いて、家電の種類や電気の使用量を詳細に把握することで、従来はできなかった新たな見守りに活用できるのではないかと思います、取り組んでいます。

●巡回中に異変を発見

検針員が移動中、駅近くのATMの周りを何度も行き来している高齢者を発見。心配になり、声がけをした上で警察に相談したところ、その高齢者は振り込め詐欺に遭いそうだったとのこと。

日頃から見守りに注意を払っている検針員により未然に被害を防ぐことができました。

●地域と協力して…

今まで、消防署と協力していた訪問による設備診断で漏電火災予防活動を行っていました。

最近では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や詐欺への懸念などもあり、訪問による診断が難しくなっています。今後は、町会・自治会や民生委員と協力するなど、地域と連携することで安心して診断を行うことができれば良いと考えています。



東京都住宅供給公社新宿窓口センター

都営相談係 宍戸氏

●日常生活の維持として

現在、都営住宅で生活している方の相談や住環境を維持するための建物管理が主な業務です。

ご高齢や障害をお持ちの住民の方からご希望があれば、ご自宅を2か月に1度訪問し、お話を伺います。

また、水道局や配食事業者とも連携を密にすることでスムーズな住民の方の生活状況の確認や安否確認ができるようになり、さらに安心して住みやすい環境づくりを進めることができました。

●定期的な見守りを…

都営住宅に住んでいる、80歳以上の方を対象に、毎年見守り活動の一環として、職員による定期的な訪問を希望するかの意思確認を行っています。訪問時は住民の方からお話を伺ったり、福祉に関するご相談があれば関係機関への紹介等を行い、住民の方が安心して生活できるよう声掛けに取り組んでいます。

●どんな人も住みやすい環境に…

高齢の既住居者と新しく入居する若者や外国人の方々の交流が、なかなか難しい状況になっています。

そのようななかでも、さまざまな方々が交流できる環境づくりや見守り活動ができるよう働きかけていきたいと思っています。

みずほ銀行中野支店

左から公金課 笠松氏 サービス課 増永氏



●それぞれのお客様にあった対応を

口座開設や振り込み手続きなどの案内や ATM の管理業務を中心に行っています。

案内業務では、様々なお客様がいらっしゃいますので、お客様おひとりおひとりのニーズにあった対応を心がけています。例えば、認知症と思われるお客様がご来店された際は、認知症サポーター養成講座での知識を活かし接客を行っています。

●振り込み詐欺を防止

窓口時間外の ATM を利用されているご高齢のお客様から「振り込み方が分からないから、教えてほしい。」と声をかけられました。その場でお話を伺っていると、不審な点が多くすぐに振り込み詐欺だと気づきました。

お客様に詐欺だとお伝えし、詐欺被害を未然に防ぐことができました。

●地域とともに…

日々の見守り活動はもちろん、金融経済教育にも力を入れています。

近隣の中高生に対して、職場体験として支店を利用し、金融や経済に関心をもってもらえるような場を提供しています。また、「何か分からないことは、銀行に聞いてみよう。」と来店されるお客様もいらっしゃいます。

ご高齢のお客様に対して、介護についての情報を提供するなど、店舗全体で見守り活動に取り組んでいます。

左からコープデリ高井戸センター長 平野氏

コープデリ豊玉センター長 北島氏



コープデリ高井戸センター

●新型コロナウイルス感染防止予防の見守り

食材や日用品の配達やお弁当の配食サービス業務を行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、配達に伺っても対面での受け取りが困難になってしまい、今までの行ってきた見守り活動では難しいと感じることが多かったです。

そのような状況でも、車内からの組合員様の見守りを強化するなど工夫をしています。

●おかしいなと思ったら…

組合員様のなかに、毎回お弁当を手渡ししている方がいらっしゃいました。

いつもは、インターホンを鳴らすと、すぐに受け取ってくれる方だったのですがその日は何度インターホンを鳴らしても、応答がありませんでした。「おかしい」と思い、開いていた窓から家の様子を伺うと、倒れている組合員様を発見しました。急いで119番をし、組合員様は病院へ搬送されました。その組合員様は今では元気になり、引き続き配達サービスを利用しておられます。

●意識が変わった

今まで協定を締結するまでは、前回お届けしたお荷物がそのままになっていても「旅行にいつてらっしゃるのかな」と思うだけでしたが、協定を締結し、認知症サポーターの研修等受講したことで「もしかしたら、なかで倒れているのかもしれない」「もしかして、認知症が進行しているのかもしれない」と意識するようになりました。

組合員様に何かあった場合はすぐに緊急連絡先に連絡ができるようマニュアルを作成し、体制を整えています。

【編集後記】 前回に引き続き、各協定事業者さんへインタビューを行いました。令和3年度は協定事業者懇談会でさらなる情報共有ができるよう準備をしていきたいと思っています。

以下今回のインタビューに同行したちびナカノさんの感想です。

「普段、何気なく暮らしている中野のまちは、多くの人の見守りでできているあたたかいまちだったんだよね。」



ちびナカノさん

★異動等で担当変更がありましたら、お手数ですが下記の連絡先までお知らせください。

連絡先 中野区 地域支えあい推進部 地域活動推進課 地域支えあい活動支援係

電話：03-3228-8838 FAX：03-3228-5620 Email：sasaeikatudo@city.tokyo-nakano.lg.jp